

アムル・ムーサ元外務大臣・元アラブ連盟事務総長、モナ・アフマド元国際協力省第一次官兼アジア部長、ターレク・サイード・モハメッド現茶道裏千家淡交会エジプト協会会長、ファラグ・バラカート・エルサイード・バラカート現アブダビ日本人学校渉外担当マネージャー兼アラビア語講師に対する勲章の発令

令和5年4月29日

4月29日、日本政府は、以下4名の方に、日本・エジプト間の関係強化及び友好親善に多大な寄与を行った功績を賞し、日本国天皇陛下から贈られる勲章の授与を発令しました。

- ・アムル・ムーサ元外務大臣・元アラブ連盟事務総長(旭日大綬章)
- ・モナ・アフマド元国際協力省第一次官兼アジア部長(旭日中綬章)
- ・ターレク・サイード・モハメッド現茶道裏千家淡交会エジプト協会会長(旭日双光章)
- ・ファラグ・バラカート・エルサイード・バラカート現アブダビ日本人学校渉外担当マネージャー兼アラビア語講師(旭日単光章)



アムル・ムーサ氏は、平成3年～平成13年まで長きに亘り、エジプトの外務大臣として日・エジプト関係の強化に貢献しました。その間、エジプトへの青年海外協力隊派遣の道を開くとともに、スエズ運河架橋の建設やエジプトの母子保健医療を改善するためのカイロ大学小児病院の改修・医療機材供与といった我が国の代表的な対エジプト協力プロジェクトの進展に寄与しました。また、同氏はアラブ連盟事務総長を平成13年から平成23年まで10年間に亘り務め、在任中に日本・アラブ経済フォーラムを設立し、日本とアラブ諸国との経済関係強化につながる素地を築きました。その功績から、旭日大綬章を授与されることとなりました。



モナ・アフマド氏は、平成25年1月から令和3年12月まで、経済協力案件の主管官庁である国際協力省において、次官兼東アジア部長(日本・中国・韓国担当)さらには第一次官兼アジア部長として、日本とエジプトの経済協力案件を推進しました。この間、灌漑、空港、エネルギー、保健、環境、電力、教育、文化といった数多くの分野で、日本政府とエジプト政府及び国際機関の間で17以上のプロジェクトの案件化に大きく貢献しました。また、同氏は、エジプト日本科学技術大学(E-JUST)の理事や大エジプト博物館(GEM)の執行役員会(Board of Directors)の役員を務め、日本とエジプトの教育協力及びGEM建設事業にも貢献しました。その功績から、旭日中綬章を授与されることとなりました。



ターレク・サイード・モハメッド氏は、昭和59年にカイロ大学文学部日本語・日本文学科を卒業後、日本にある裏千家学園茶道専門学校にて茶道を学び、帰国後は裏千家エジプト同好会に参加してエジプトにおける茶道の普及に努めてきました。平成13年には、裏千家流「引次」許状を取得するとともに、同氏の積極的な活動によって、裏千家エジプト同好会は裏千家の正式なエジプト支部として茶道裏千家淡交会エジプト協会へ昇格しました。また、同氏は、現在に至るまで茶道講師として様々な場所で行われる文化行事で茶道を紹介し、茶道を通じた日本文化の普及に貢献しています。その功績から、旭日双光章を授与されることとなりました。



ファラグ・バラカート・エルサイード・バラカート氏は、日本人学校渉外担当マネージャー兼アラビア語講師として、平成元年4月1日以降、現在までにアラブ首長国連邦(以下UAE)に所在するアブダビ日本人学校に在学した約2,300名の日本人子女に対して、アラビア語及びUAE文化に関わる教育を実施し、日・UAEの文化・習慣を理解させるとともに、UAE人子女約130名に対して、日本文化・習慣の理解を促進させ、異なる文化や多様な価値観を認め合い、国際感覚豊かな人間性を育むことに寄与してきました。その功績から、旭日単光章を授与されることとなりました。

岡駐エジプト日本大使より、上記4名の功績に対して謝意と賛辞を表するとともに、エジプトの皆様と協働しながら大使館が活動することで、日・エジプト関係が大きく進展していることを嬉しく思うとのコメントを出しています。在エジプト日本大使館は、今後とも日本・エジプト関係の更なる発展のために尽力して参ります。